

2024年度(第26期)決算について

2025年5月9日

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を用いてなされもしくは算定したものです。

将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。

2024年度決算概況及び2025年度業績予想

(単位：億円)

項目	2023年度 実績	2024年度 実績	2024年度		2025年度 業績予想	対前年
			対前年	対業績予想		
営業収益	14,970	14,686	▲283	+236	14,720	+34
営業利益	1,389	818	▲571	+18	770	▲48
当期利益 [※]	988	608	▲380	+68	500	▲108
EBITDA	3,288	2,918	▲370	+128	2,870	▲48
設備投資	2,372	2,398	+26	+28	2,500	+102
光サービス純増数 (末契約数)	+3.7万 (1,029万)	+5.9万 (1,034万)	+2.2万	+0.9万	+6.0万 (1,040万)	+0.1万

※ 当社に帰属する当期利益(非支配持分帰属分控除後)を記載しております。

営業利益の状況・見通し

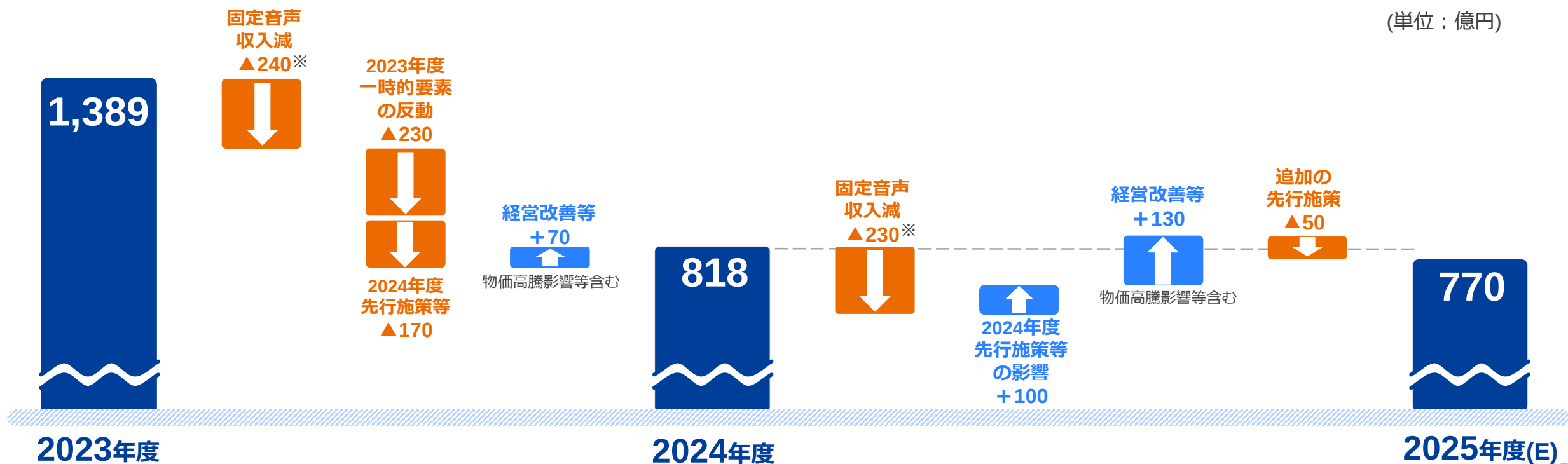
●2024年度

成長事業の拡大やコスト改善等を実施したものの、固定音声収入の減に加え、前年度一時的要素の反動や将来の持続的成長に向けた先行施策等の影響により対前年減益

●2025年度

固定音声収入の減は継続するものの、成長事業の拡大や不断のコスト改善等により、追加の先行施策除きでの対前年増益をめざす

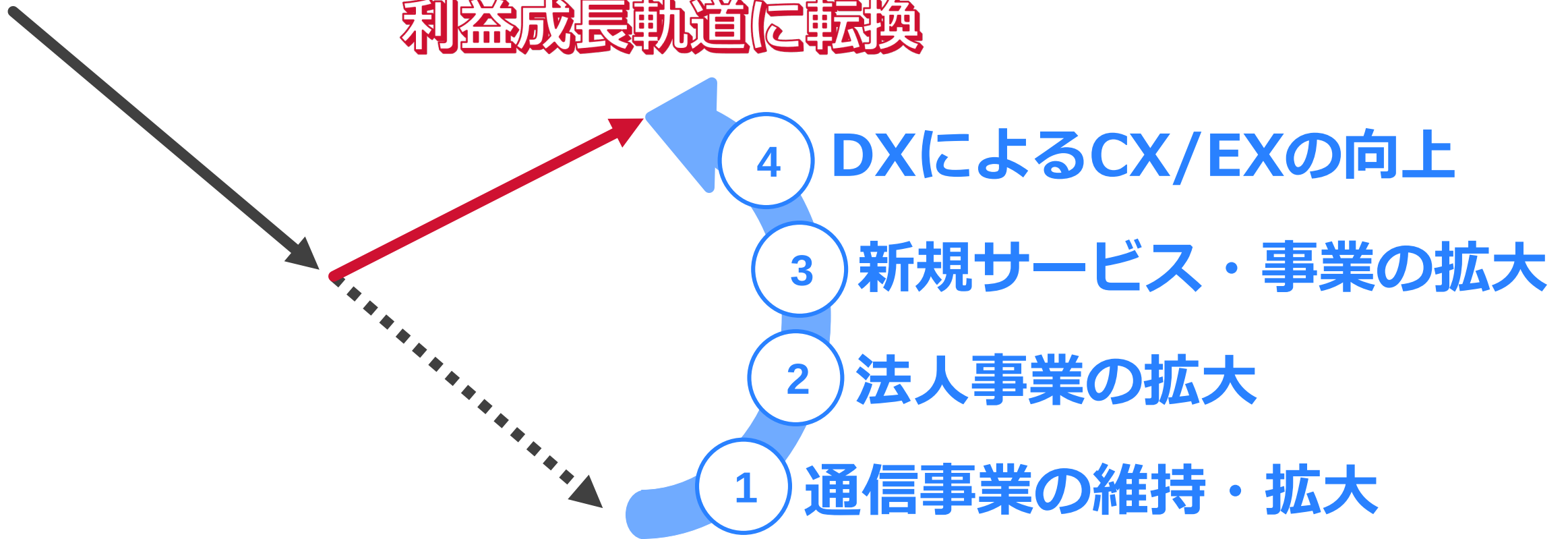
(将来の成長をより確実なものとするため、引き続き先行施策を実施)



※高付加価値サービス (Wi-Fi,セキュリティ,クラウド等)を除く

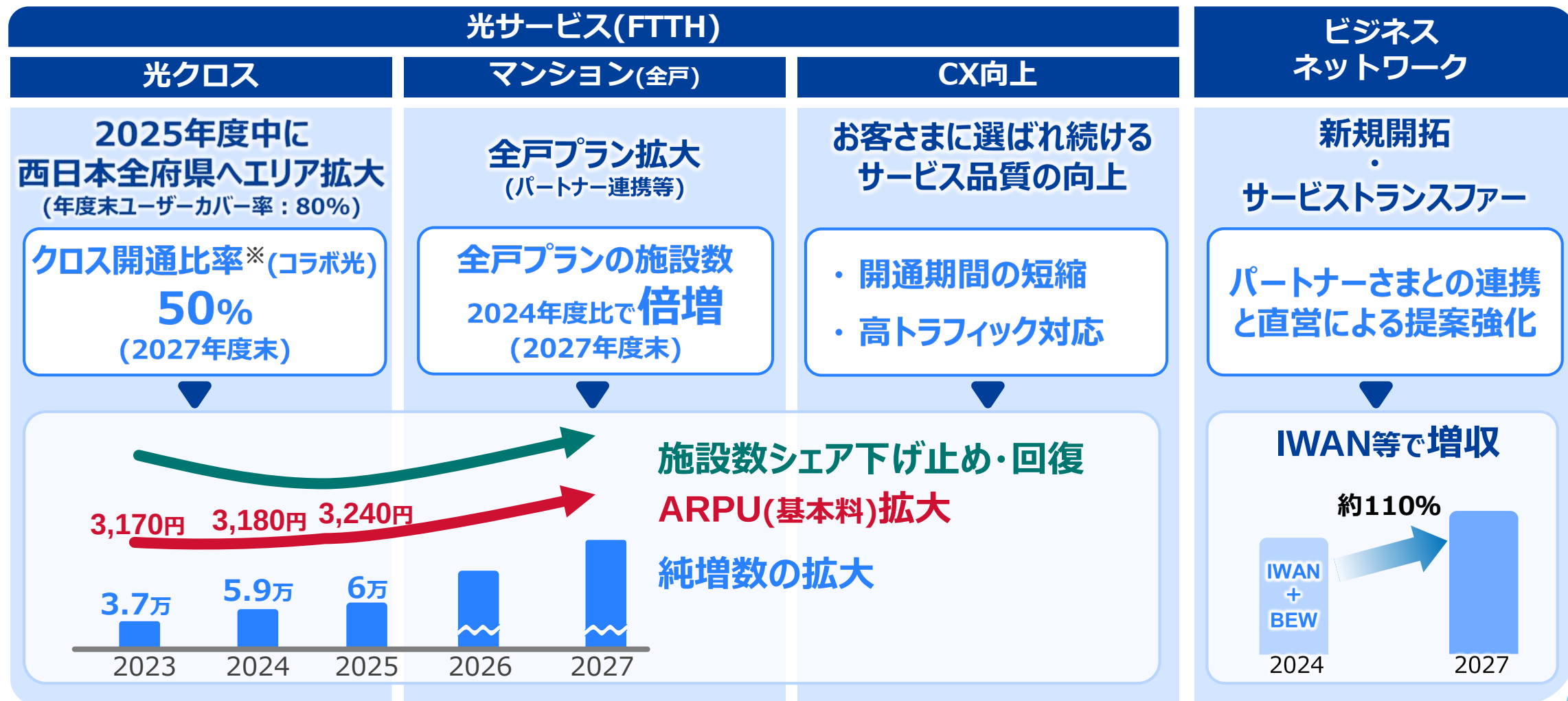
2025年度の具体的な取組み

利益成長軌道に転換



1. 通信事業の維持・拡大

- 光サービスは、光クロスと全戸プランの販売拡大、CX向上により、純増数とARPU(基本料)を拡大することで、施設数シェアの下げ止め・回復をめざす
- ビジネスネットワークは、新規開拓とサービストランスファーによりIWAN等の増収をめざす



2-1. 法人事業の拡大

- マネージド型サービスの拡充、運用センタ(MC-SOC等)の充実により、クラウド～オフィス内ICT環境までをトータルでサポートし、ICT課題を解決
- 法人事業における収益・利益規模の約10%拡大(2025年度・対前年)をめざす

お客さまのICT課題



NW+マネージドサービスの拡充

お客さまの環境整備・
運用をセンタでサポート

- NW構築、セットアップ
- セキュリティ/装置監視
- 各種設定変更
- 故障対応
- レポート等

運用サポートまでトータル提供



ガバメントクラウド
接続サポートサービス
地域創生クラウド～ガバメント
クラウドへのセキュアな接続＋
運用サポート

Managed SD-WAN
セキュアな拠点間NWの提供
コントローラによるNW一元管理

新たなサポートサービス
(情報システム担当者さま支援)
中堅・中小企業のITサポートサービス
(DX・情報システム運用等)

2025年10月
提供予定

2025～26年度に
コネクタサービスや
マネージドサービスを
順次拡充予定

2-2. 情シスおまかせサポートサービス(仮称)の提供

中堅・中小企業の情報システム担当者さまが抱える、「膨大なIT資産管理」、「セキュリティ対策・運用」、「デジタル化ツール等の導入による生産性向上」等
さまざまなお困りごと解決をサポートするサービスを提供

サービス提供開始日

2025年10月(予定)

➡ 6月より先行販売開始

NTT西日本は中堅・中小規模企業を全力でサポートします



Nにしょ。



情シスおまかせサポートサービス (仮称)



利用しているサービス情報を
一元化(ビジネスマイページ)



DX・OAアプリの使い方やPC・NWトラブルを
ヘルプデスクで一元的に受付



IT資産のセキュリティ管理を効率化



NW図面の一元管理により
各拠点における故障も迅速に対応



業務の可視化によりDX推進を支援



セキュリティが担保された
ビジネスチャット(elgana)

2-3. 生成AIの活用

- 生成AIサービス等の活用によりお客さまの業務を効率化し、稼働・人材不足等の課題を解決。
100億円規模の生成AI関連ビジネス創出をめざす

NTT西日本グループが提供する生成AIサービスの特徴

導入から運用まですべてお任せ

法人向け
生成AI
サービス

導入

生成AI講座・勉強会
ワークショップ

生成AI人材育成支援

運用

利用ログ分析、活用支援 等

プロンプトエンジニアリング支援

ワークフロー機能の充実

- 条件指定が手軽にできる入力フォームの設定や
業務フローに合わせたテンプレート作成機能を実装



活用事例

カスタマーサポートにおける回答案作成

before



- 問合せ回答に際し、規定等の参照も必要なため、労力と手間がかかる
- 属人により回答に偏りあり

after

①社内ドキュメント
インストール
(マニュアル等)



②問合せ内容
入力

③ナレッジ検索
(RAG)の上、
回答作成



- オペレーターの稼働削減
- 回答品質の統一

100億円規模の生成AI関連ビジネスを創出

3-1. 新規サービス・事業の拡大①

- 国内最大級(月間利用者数4,000万人超、取扱冊数140万冊以上)の電子書籍ストアのコミックシーモアを拡大
- また、オリジナルコミック制作からライセンス展開までの包括的取組みを強化するとともに、グローバル市場へもビジネスを展開することで、2027年度に1,000億円の全社売上高をめざす

ソルマーレの収益拡大

コミック制作

作品販売

ライセンス展開

包括的に実施



出版



ドラマ



アニメ/映画



グッズ

2025年度以降の
新たな取組み

少年漫画などの作品を拡充

シナリオ/企画の自社制作、編集プロダクションとの連携

海外出版社との連携による作品の獲得

2027年度
収益目標
1,000億円

=

国内事業拡大



約950億円

+

グローバル展開



約50億円

3-2 . 新規サービス・事業の拡大②

- 欧州の自動運転EVバス研究開発企業と資本提携を行い、自動運転の社会実装を推進
- 2024年度は12自治体と実証を実施。2025年度は更に実証自治体を拡大し、約20自治体での導入をめざす

自動運転EVバスソリューション

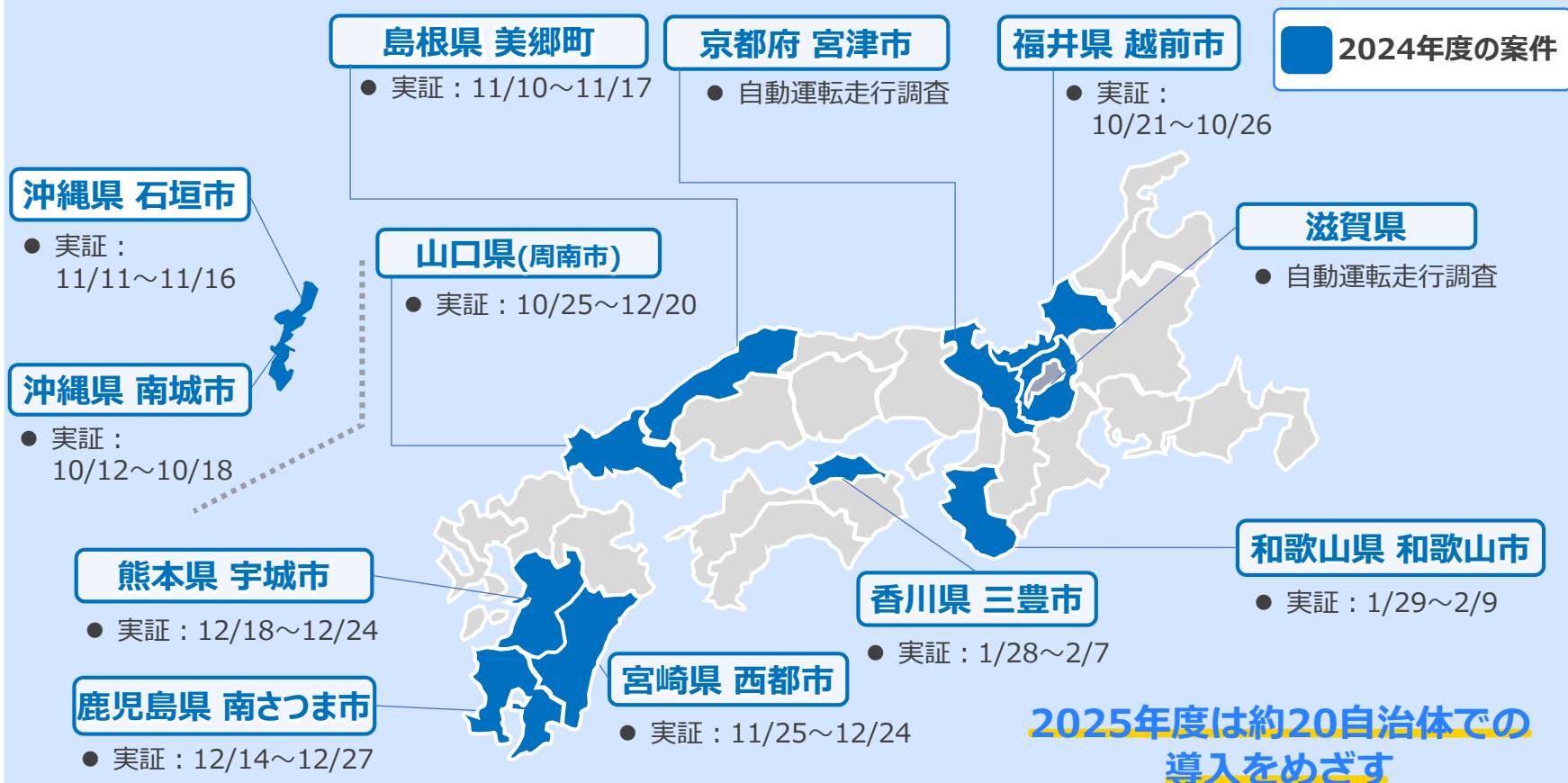


2023年8月

自動運転EVバスの国内トップ
企業マクニカ社と戦略提携

2024年8月

世界26か国以上に実績をもつ
自動運転EVバス研究開発製造
仏Navya Mobility社へ出資



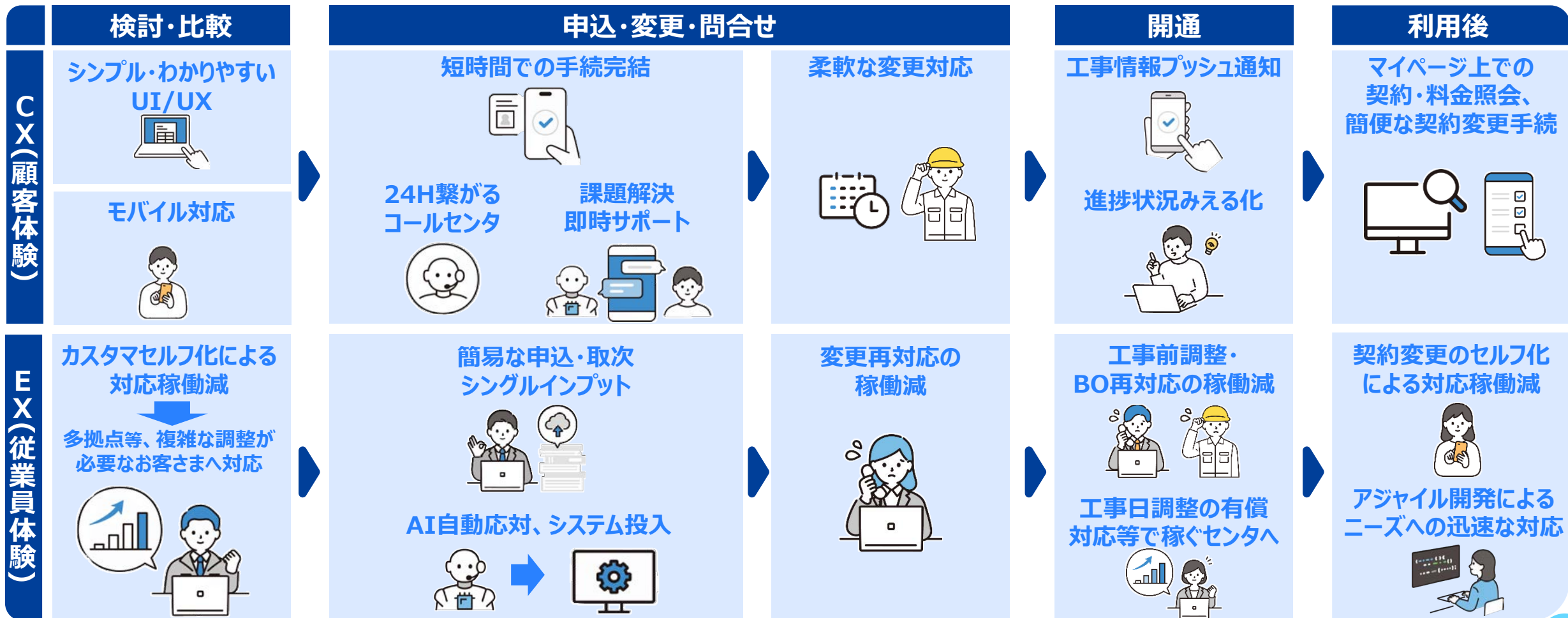
4. DXによるCX/EXの向上

➤ 通信オペレーション改革を進め、「時間と場所を問わないスピーディな手続き」を実現

Web注文比率
60%

10分以内の
申込完結

フロースルー率
60%



2025年大阪・関西万博における取組み

- 会場内外に、低消費電力・高品質・大容量・低遅延伝送を兼ね備えたIOWNの様々なユースケースを提供

NTTパビリオン動画



NTT PAVILION EXPO 2025

PARALLEL
TRAVEL

リモートプロダクション

NHK ABCテレビ ytv 8カンテレ

APN

万博会場からの
中継環境をシェア

堂島DC

APN

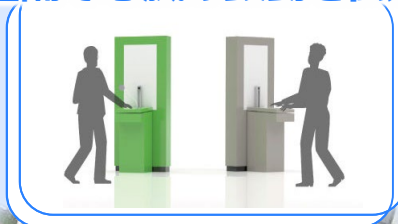
万博会場の映像
を堂島DCへ

万博会場



ふれあう伝話

遠隔で心臓の鼓動を伝送



NTTパビリオン

いのち
動的平衡館

日本館

APN

遠隔でハイタッチ



関西
国際空港

超歌舞伎

5/24,25

日台の演者が双方に
テレポーテーション

バーチャル リアル



万博会場
EXPOホール

台湾 台北
中華電信講堂

日台双方の観客の
盛り上がりを一体化(ペンライト等)

台湾

大阪



情報セキュリティ強化に向けた進捗状況

項目	2025年3月31日 公表内容
リスク見える化	● 重要情報を持つシステムに対し、第2線による実査を実施(2025年3月) ● SDLCガバナンス(システム構築前、改修・更改、廃棄のタイミングで、都度、必要な機能が具備されているか確認していくプロセス)の運用開始(2024年10月)
リスク箇所の最小化	● USB原則利用禁止に向けたファイル中継GWの導入開始(2025年1月) ● セキュリティに優れたセキュアFATをグループ会社へ導入拡大(2025年2月) ● 特権アカウントを有する長期配置者に対するマネジメント方針を強化(2025年2月) ● 2025年度の導入に向け、業務端末のVDI化の開発・運用環境構築を完了(2025年3月)
監視の高度化・点検の徹底	● ログ分析PFによるアラート検知の仕組みをグループ会社へ適用拡大(2025年2月) ● 振る舞い検知対象システム(EDR)の導入拡大(2025年3月)
情報セキュリティ推進体制の強化	● アドバイザリーボードを開催し、外部有識者と議論を通じ、今後のセキュリティ対策の方向性について認識を深化(2024年10月) ● セキュリティ&トラスト委員会を開催し、各施策の進捗状況の確認、新たな対策への議論を実施(2025年2月) ● 経営幹部からのメッセージ発信(2025年1月)、各社長・幹部向け研修の実施(2025年1、2月)

参考(お客さま情報の不正持ち出しを踏まえたNTT西日本グループの情報セキュリティ強化に向けた取り組みの進捗状況について)

<https://www.ntt-west.co.jp/corporate/security/>



新社名：NTT西日本株式会社(2025年7月1日～)

「つなぐ」その先に「ひらく」 あたらしい世界のトビラを

私たちは、地域社会の一員として、
あらゆる人々が幸せで豊かな未来の姿を追求しつづけます。
そのために、技術と知恵をみがき、新たな価値の共創に挑戦します。